



## 赤心(せきしん)

～ 豊かな感性 確かな知性 あふれる意欲 ～

2023.10.13



## 第1回赤堀中学校をよりよくするためのアンケート結果

「第1回赤堀中学校をよりよくするためのアンケート」では、ご協力をありがとうございました。今回、その結果をお知らせします。また、本アンケートにより明らかとなった課題について、その改善点の検討を行いましたので、併せてご報告いたします。

◎保護者・生徒とも（またはいずれか）が高い評価だった項目  
（「A：十分できている」・「B：できている」の割合）

項 目	保護者	生徒
①通知や通信等は、学校の取組や生徒の様子について、分かりやすく伝えていると思いますか。	89%	91%
②先生は、お子さんの学力を適切に評価してくれていると思いますか。	88%	94%
③お子さんは、すすんで「あいさつ」をしていますか。	83%	88%
④お子さんは、時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができていると思いますか。	85%	89%
⑤お子さんは、友だちに「思いやり」をもって学校生活を送っていると思いますか。	93%	95%
⑥お子さんは、学校のきまりや約束（生活のきまり）を守って生活できていると思いますか。	89%	93%
⑦先生は、生徒の間違った行動について適切に指導してくれていると思いますか。	86%	95%
⑧家庭では、お子さんは毎日朝食を食べていますか。	92%	92%
⑨学校は、施設・設備の安全に配慮していると思いますか。	97%	97%
⑩学校は、交通安全の指導を適切に行っていると思いますか。	85%	92%
⑪お子さんが所属している部活動は、学校の部活動方針に則って、部活動が行われていますか。	89%	90%

保護者や生徒の皆さんから高い評価を得た上記の11の項目は、実は昨年度の第1回アンケートの結果と同じ結果でした（数値については多少の違いはありますが）。複数年にわたり高い評価を得たということは、これらのことは「赤堀中学校の長所である」と判断できます。そこから次のことが読み取れます。

- (1) 生徒が落ち着いた学校生活を送っていること。また、様々な場面で、生徒の皆さんが自ら考え行動することが身につけていること。（③・④・⑤・⑥から）
- (2) 保護者や生徒の皆さんが、赤堀中学校に対して信頼を寄せてくれていること。（①・②・⑦から）
- (4) 保護者の皆さんが、生徒の基本的な生活習慣の確立を心がけていること。（⑧から）
- (5) 部活動への理解があること。（⑪から）
- (6) 生徒が安心・安全に学校生活が遅れるようにしていること。（⑨・⑩から）

学校として大きな課題の一つが⑩に関係する交通安全です。今年度もこれまでに日常的な安全指導の他、「交通安全マナーアップ運動」や「自転車交通安全教室（スクエアード・ストレイト）」といった大きな取り組みも行ってきました。しかし、自由記述欄でも複数の方からご意見をいただきましたが、生徒の自転車の乗り方について課題があることも明らかです。交通安全への意識を生徒がしっかりと身につけていけるよう指導を継続していきます。また、自転車の乗り方は、保護者の皆様のご協力も不可欠です。生徒が安心・安全に学校に通えるよう、引き続きご理解とご協力をよろしく願います。

◎保護者・生徒とも（またはいずれか）が低い評価だった項目  
（「A：十分できている」・「B：できている」の割合）

設 問	保護者	生徒
①お子さんは、授業が「わかりやすい」または「楽しく、ためになる」と言っていますか。	53%	87%
②お子さんは、教科書や授業の内容が理解できていると思いますか。	51%	78%
③お子さんは、1日の学習時間を設定し、計画的に学習していますか。	32%	49%
④お子さんは、家庭で「お手伝い」をしていますか。	51%	67%
⑤お子さんは、日常生活の中で運動に親しんでいると思いますか。	65%	68%
⑥お子さんは、「将来の希望」や「自己の生き方」について考えていますか。	50%	71%

次の3つのでの視点で分析をしました。

【学習面での課題】（①・②・③より）

普段の授業での生徒の取り組みの様子は、感心するほどまじめに、そして熱心に取り組んでいます。しかし、定期テスト等の結果が思っている以上に奮わないこともあるようです。学んだことを学力として確実に定着させていくことは、大切なことです。今年度は校内研修のテーマを「主体的に考えを深め合う生徒の育成 ～個々の考えを共有し進化させる指導の工夫～」とし、全教員が一体となって研修に取り組んでいます。2学期も、日々の授業の工夫・改善を行い生徒の学力向上に努めていきます。

【生活面での課題】（④・⑤より）

「お手伝い」については、夏休み前にお手伝い週間を設定しました。お手伝いは家庭への所属感や自己有用感を高めるために有効であると考えます。これは、学校における当番活動や係活動、委員会活動の充実につながり、ボランティア意識の高まりにもつながります。これらを通して「社会を構成する一員としての自分」という意識の確立につながると考えます。今後もご家庭でのお声がけを、ぜひお願いします。

運動については、この時期熱中症対応を取らねばならず、満足に活動できないこともあります。予防に努めできる範囲で充実させていきたいと考えます。

【キャリア教育での課題】（⑥より）

赤堀中では、将来にわたって自己の生き方を考えるキャリア教育を、教育活動の大きな柱の一つとしています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった2年生の職場体験学習も、今年度は復活をしました。今後もキャリア講演会など、各学年でキャリア教育の充実に努めていきたいと考えています。また、改めて保護者の皆様をお願いします。生徒の将来の夢や進路について、それぞれのご家庭で話し合う機会をぜひ設けてください。生徒にとって、一番身近な存在である保護者と話をすることは、生徒が自己の生き方を考える大変素晴らしい機会となることでしょう。

自由記述欄にも、ご意見をありがとうございました。いただいたご意見については、学校全体として課題とし、改善できるものは改善していきます。

今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。